

令和5年4月24日号

# 御幸が原小だより

～1年間よろしくお祈いします～



発行 宇都宮市立御幸が原小学校

校長 稲澤 正明

栃木県宇都宮市御幸ヶ原町 53-2

TEL 028-663-0358

e-mail mihara-e@ueis.ed.jp



学校 HP QRコード



着任式



始業式

誓いの言葉

令和5年度御幸が原小学校は、1年生68名が入学し、児童数365名でスタートしました。「みはら Passion 発見・挑戦・創造」を合言葉に「支え合い、未来を拓く、みはらっ子」を目指し、心豊かな児童を育成すべく、活気ある学校づくりを推進して参ります。ご家庭・地域の皆様、昨年度と変わらぬご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の予防対策に関しましては、これまでの様々なお願いに対応いただき誠にありがとうございます。今後も関係機関と緊密に連携を図りながら、必要な情報を速やかにお伝えいたします。

今年度の学校概要の詳細をHPに掲載いたしましたので、ご覧いただければ幸いです。

## 令和5年度児童数

学年(学級数)	男	女	計	P会員
1学年(2学級)	35 (1)	33	68 (1)	41
2学年(2学級)	41 (1)	23 (1)	64 (2)	47
3学年(2学級)	30	31	61	46
4学年(2学級)	30 (1)	29	59 (1)	53
5学年(2学級)	29 (2)	23	52 (2)	50
6学年(2学級)	25 (2)	36	61 (2)	61
計	190 (7)	175 (1)	365 (8)	298

( )の数字は特別支援学級在籍者数<内数> 4/8 現在

今年度も学級数に変更はありませんが、児童数が10名減少してしまいました。児童数が減ってしまったことは、正直なところさみしい限りですが、よりきめ細やかな指導や、全職員による深い児童理解を目指したいと思います。なお、学区外からの学習もできる通級指導教室は昨年度同様2クラスです。

## 68名の児童が「みはらっ子」の仲間入り

令和5年度入学式を、保護者と共に祝うことができました。

いよいよスタートした小学校生活。勉強も運動もがんばって、一人一人の良さを伸ばしていきましょう。

精一杯応援します。



## 令和5年度職員紹介

～昨年度との変更点～

○ 1年生を支援する先生が1名（現在調整中）、2年生を支援する先生が2名配置となります。

校長	稲澤 正明	副校長	松島 清香	教務主任	塚田 真文
養護助教諭	内海 栞	学校栄養士	山下 美和子	主事（学校事務）	高柳 英明
学校図書館司書	大山 麻希子	かがやきルーム指導員	酒井 久美子	学校業務	吉田 春雄
初任者研修指導教員	村岡 裕之	学校生活適応支援業務	矢口 和代	学校生活適応支援業務	角田 邑美
初任研後補充	渡邊 道男	少人数・専科担当	駒場 一博	A L T	ジョナサン・ロデュタ
1年1組（学年主任）	伴 直美	2年1組（学年主任）	片柳 次郎	3年1組（学年主任）	山本 正江
2組	関口 睦美	2組	阿部 文香	2組	手塚 遥子
4年1組（学年主任）	宇梶 明子	5年1組（学年主任）	田村 尚美	6年1組（学年主任）	福多 朝子
2組	小泉 大地	2組	大木 涼	2組	安波 慎吾
通級指導教室みはらスマイル教室		特別支援学級すぺーすういず		スクールカウンセラー（鬼怒地域学校園担当）	
1組	渡邊 直子	1組（主任）	中田 こず恵		澤村 明子
2組	鈴木 寿恵	2組	吉村 茉緒	スクールカウンセラー	東山 治子

※ 下線職員は今年度着任した職員です。 ※ 職種によって勤務日数や勤務時間が異なります。

### 雑感

この詩は、入学式の日、1年生の保護者にご紹介したものです。世界的に有名なアメリカの教育学者ドロシー・ロー・ノルト氏によるもので、天皇陛下が皇太子さま時代に、マスコミから子育てについて質問された際、ご自身が感銘を受けたものとしてお伝えされたことでも有名になりました。

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
不安な気持ちで育てると、子どもは不安になる  
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる  
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
広い心で接すれば、キレる子にはならない  
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る  
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば、  
子どもは、この世の中はいいところだとおぼえるようになる

この詩のタイトルは「子は親の鏡」です。

私たちは、親の部分「教員」そして「家庭」を学級・学校と置き換え、この詩の内容を真摯に受け止め、学校教育に生かしたいと思っています。

ご家庭で子育てについて考える際の参考にしていただければ幸いです。